



東北大学

大学院農学研究科

複合生態フィールド教育研究センター



放牧草地から望む栗駒山

フィールドセンターでの研究生活：温泉と研究

都会から遠く離れた自然豊かなフィールドで多くの学生・大学院生が、教職員とともに研究に励んでいます。都会のような便利な生活にはほど遠いですが、現場でしか体験できないフィールド研究の醍醐味（難しさと楽しさ）を経験することができます。

鳴子温泉と言えば全国有数の温泉地帯。近くにはたくさんの温泉が研究の疲れを癒します。特に、フィールドセンター近くの川渡（かわたび）温泉の老舗旅館は学生のオアシスです。旅館の部屋を借りて、研究生活を送っている学生・研究員もたくさんいます。

フィールドセンターでの研究に興味のある方は、是非、HPをご覧ください。

問い合わせ先：

東北大学複合生態フィールド教育研究センター
TEL 0229-84-7311

ホームページ：

<http://www.agri.tohoku.ac.jp/kawatabi/index-j.html>

表頁：山での放牧に適した肉牛（日本短角種）

東北大学・複合生態フィールド教育研究センター（以下、フィールドセンター）は、陸・海・空から農林水産業と環境の研究を進めている東北大学のフィールド研究の拠点です。

「陸」のフィールドセンターは宮城県北部鳴子温泉地区に位置しています。広大な森林域から中山間域にかけての林地・草地・耕地がバランス良く配置されたフィールドは、2,200ha。大学附属農場としては最大規模です。自然の恵みを活かし、環境にやさしい農業・畜産・林業のための研究を進めています。

「海」の研究は、三陸海岸に面した複合水域生産システム部（宮城県女川町）。そして、「空」からの研究は、人工衛星画像などのリモートセンシングを用いて、仙台の農学部キャンパスの複合生態フィールド制御部で行っています。

ブルーベリージャム

無農薬で栽培したブルーベリー果実を厳選し、砂糖だけで、その他の添加物を一切加えずに作りました。ブルーベリーの持ち味を活かしたさわやかな酸味をご賞味下さい。

ブルーベリーは北米原産のツツジ科の灌木で、元々酸性の土壌の好む植物です。フィールドセンターの土壌は酸性で、一般の作物を栽培するために土壌改良に大変な努力が必要ですが、その欠点を逆に活かして、ブルーベリーの栽培を行っています。鳴子温泉地区の冷涼な気象条件と相まって、ブルーベリーの栽培には最適です。



ブルーベリーの花と果実



無農薬栽培・ブルーベリージャム

原木栽培・乾燥しいたけ

フィールドセンターの広大な森林から切り出したコナラ・ミズナラなどの木材を原木として栽培した「しいたけ」です。もちろん、無農薬。緑陰で育った森の風味をご賞味下さい。



原木栽培・乾燥しいたけ



純米大吟醸酒「萩丸」

純米大吟醸酒「萩丸」

この酒は、2005年、東北大学百周年を記念して、東北大学オリジナルの日本酒として、酒米の育種から栽培、醸造管理、蔵元、ネーミング、販売まで、一貫して東北大学関係者が総力をあげ、作り上げたものです。「萩丸」の名称は、宮城県の県花であり、東北大学のロゴにあるミヤギノハギにちなんだものです。東北大学では、国際学術交流や学内外の祝宴に、また卒業生の集いなどで広く飲まれています。

酒米は宮城県古川農業試験場において本学OB松永和久氏が中心になって育成した「蔵の華」。その「蔵の華」は主にフィールドセンターで栽培した100%東北大産を用いています。麹菌および酵母の選定は、本学・五味勝也教授の指導の下で行われ、製造は、(株)一の蔵(鈴木和郎前会長(故人)、本学OB)が当たっています。バランスのとれた吟醸香、ふくらみを持った絶妙の味をご賞味下さい。



有機栽培水田の田植え



ブナ森林の観測タワー